

ファームウェアダウングレード手順(Red Hat Enterprise Linux 8.8 編)

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- ※ **本書の目的:** 本書は対象装置(以下、サーバー)に Red Hat Enterprise Linux(以下、RHEL)8.8 をインストールする際に必要なファームウェアダウングレード手順を示します。
- ※ **対象:** 本書は以下の(1)、(2)の条件が当てはまる場合を対象とします。下記条件を1つでも満たさない場合は本書の手順を適用しないでください。
 - (1) サーバーが対象型番に該当する(本ページ下部の対象型番を参照)
 - (2) RHEL8.8 を新規インストールする
- ※ **注意事項:**
 - (1) RHEL8.8 を新規インストールする前に本書を参照してください。
本書の対象装置に RHEL8.x(x=9 以上)をインストールする場合、はじめに本書を参照してファームウェアのダウングレードを実施してから RHEL8.8 をインストールします。その後に使用する RHEL へアップグレードを実施してください。
 - (2) 本書のダウングレード対象ファームウェアは以下のとおりです。
 - ・ LAN コントローラおよび LOM
 - ・ Fibre Channel コントローラサーバー内蔵ファームウェア(System ROM、iLO6 ファームウェア等)、ディスクドライブ、RAID コントローラはダウングレード対象ではありません。

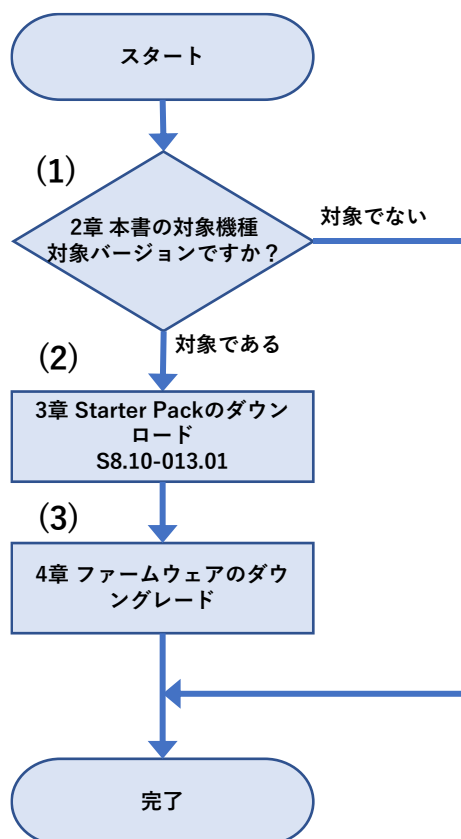
Red Hat Enterprise Linux をインストールする場合、次ページのフローチャートに従い、ファームウェアのダウングレードを実施してください。

対象装置の型番:

- ※ 以下の型番のサーバーのみが適用対象となります。下記以外の型番には本書を適用しないでください。

Express5800/R110m-1 (Gen 表記なし) : N8100-3004Y、N8100-3005Y

1. 手順フロー



注意事項:

- 本書の手順を実施することで、「BIOS/Platform Configuration (RBSU)」の設定が初期設定に戻ります。RBSU の設定を変更している場合は、本手順を実施する前に RBSU の設定値をバックアップ (保存) し、ファームウェアのダウングレード後にリストア (復元) してください。設定方法の詳細は、本体装置のユーザーズガイドおよびメンテナンスガイド (共通編) をご参照ください。
- 本書のダウングレード手順は、Red Hat Enterprise Linux 8.8 をインストールする前に実施する必要があります。既に Red Hat Enterprise Linux 8.8 をインストールした状態で、ダウングレードを実施することはできません。その場合は、ダウングレードを実施する前に Red Hat Enterprise Linux 8.8 を削除する、もしくはダウングレードを実施した後に Red Hat Enterprise Linux 8.8 を新規インストールしてください。
- Red Hat Enterprise Linux 8.8 のインストール方法は、本体装置のインストレーションガイドをご確認ください。

2. 対象の確認(機種、バージョン)

以下の条件があてはまる場合は本書の対象になります。

(1)

以下の(a)~(c)の条件がすべて当てはまる場合にファームウェアのダウングレードが必要となります。

1つでも条件にあてはまらない場合は本書の対象ではありません。ダウングレードは行わないでください。

(a) サーバーが対象型番に該当する。(表紙下部の対象型番を参照)

(b) RHEL8.8 を新規インストールする。

(c) iLO6 ファームウェアのバージョンが 1.64 以上である。

参考:

iLO6 ファームウェアのバージョンを確認する方法は下記 3 通りがあります。いずれか 1 つの方法を実施します。

- Server Health Summary 画面で確認する方法

1. サーバーにディスプレイとキーボードを接続します。
2. サーバーの AC 電源をオンにします。
3. [Server Health Summary]画面を表示するため、サーバー前面の UID ボタンを押し、UID をオンにします。
注意事項: 5 秒以上押し続けると iLO の再起動が開始されるため、長押し操作は行わないようにお願いします。
4. サーバーが接続されたディスプレイ上に[Server Health Summary]画面が表示されます。
画面上に表示される『iLO Firmware』の項から、iLO6 ファームウェアのバージョンを確認してください。
5. [Server Health Summary]画面を閉じるため、サーバー前面の UID ボタンを押し、UID をオフにします。
注意事項: 5 秒以上押し続けると iLO の再起動が開始されるため、長押し操作は行わないようにお願いします。

- サーバーのローカルコンソールで確認する方法

1. サーバーの電源がオンの場合は、シャットダウンして電源をオフにします。
2. サーバーにディスプレイとキーボードを接続します。
3. サーバーの電源をオンにします。POST 画面が表示されますので、キーボードの<F9>キーを押します。
4. システムユーティリティ画面が表示されますので、キーボードを操作し「System Information → Firmware Information」を選択します。
5. システムユーティリティ画面にファームウェアバージョンが表示されます。画面表示との対応は下記のとおりです。
 - 画面の「iLO Firmware」→ iLO6 ファームウェアのバージョン
6. <ESC>キーまたはシステムユーティリティ画面の「Exit」を選択し、システムユーティリティを終了します。
システムユーティリティの操作方法は、メンテナンスガイド(共通編)の「便利な機能」、「システムユーティリティ」を参照してください。

- iLO Web インターフェイスを利用して、リモートから確認する方法
 1. iLO6 の管理用ネットワークに接続可能な PC 端末を準備します。
 2. PC 端末の Web ブラウザーを起動し、iLO Web インターフェイスに接続し、ログインします。
 3. 左メニューの「ファームウェア & OS ソフトウェア」を選択し、「ファームウェア」を選択します。
 4. iLO Web インターフェイス画面にファームウェアのバージョンが表示されます。画面表示との対応は下記のとおりです。
 - 画面の「iLO6」→ iLO6 ファームウェアのバージョン
 5. ログアウトして、Web ブラウザーを終了します。
- iLO Web インターフェイスの操作方法は、iLO6 ユーザーズガイドを参照してください。

3. Starter Pack のダウンロード

下記の 3 点を準備します。

- インターネットに接続された PC 端末
- DVD-R に書き込み可能な光ディスクドライブ
- DVD-R メディア 1 枚

補足事項:

iLO のリモートメディア機能を使用することで、DVD 媒体を使用しなくても Starter Pack を適用することができます。

リモートメディア機能を利用するには、リモートマネジメント拡張ライセンス[N8115-33]の購入が別途必要です。

- (1) PC 端末から以下の Web ページにアクセスし、Starter Pack をダウンロードします。

Express5800 シリーズ Starter Pack Version S8.10-013.01
 (<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010111396>)

※ 上記 URL に直接アクセスできない場合は以下の NEC サポートポータルから検索して対象の Starter Pack をダウンロードしてください。

<https://www.support.nec.co.jp/>

「製品から探す: ハードウェア」→「型番・モデル名から探す」→対象の製品・モデル名を検索→「修正情報・ダウンロード」

“Express5800 シリーズ Starter Pack Version S8.10-013.01” を検索してください。

- (2) Starter Pack 掲載ページの【Starter Pack DVD の作成】を参照し、DVD の作成を行います。

4. ファームウェアのダウングレード手順

ファームウェアダウングレードを実施するために、本章では以下の作業を行います。

- (1)～(7) : 設定のバックアップ
- (8)～(18) : ファームウェアダウングレードの実行
- (19)～(23) : 設定の復元

(1) 事前準備

ファームウェアのダウングレードにあたって、工場出荷時に設定された User Default 設定 (下記メニュー) について設定値を記録してください。ダウングレード後、再設定が必要な項目があります。

※ 工場出荷時設定から変更されている場合は、メンテナンスガイド (共通編) にて工場出荷時設定を確認してください。

POST 中に <F9> キーを押してシステムユーティリティに入り、「System Configuration > BIOS/Platform Configuration (RBSU)」以下の設定を確認し、記録してください。

a. System Options > Server Availability > POST ASR

- ☐ POST ASR Off
- ☐ POST ASR On

b. System Options > Server Availability > POST ASR Timer

- ☐ 30 Minute Timer
- ☐ 20 Minute Timer
- ☐ 15 Minute Timer
- ☐ 10 Minute Timer

c. Advanced Options > Fan and Thermal Options > Fan Failure Policy

- ☐ Shutdown/Halt on Critical Fan Failures
- ☐ Allow Operation with Critical Fan Failures

d. Virtualization Options > Intel(R) VT-d

- ☐ Enabled
- ☐ Disabled

e. Processor Options > Processor x2APIC Support

- ☐ Force Enabled
- ☐ Auto

f. Date and Time > Time Format

- ☐ Local Time
- ☐ Coordinated Universal Time (UTC)

g. Date and Time > Time Zone

- ☐ UTC+ (:)
- ☐ Unspecified Time Zone

h. Advanced Options > Fan and Thermal Options > Thermal Shutdown

- ☐ Enabled
- ☐ Disabled

i. Workload Profile

- | | |
|---|---|
| ☐ General Power Efficient Compute | ☐ General Peak Frequency Compute |
| ☐ General Throughput Compute | ☐ Virtualization - Power Efficient |
| ☐ Virtualization - Max Performance | ☐ Low Latency |
| ☐ Mission Critical | ☐ Transactional Application Processing |
| ☐ High Performance Compute (HPC) | ☐ Decision Support |
| ☐ Graphic Processing | ☐ I/O Throughput |
| ☐ Custom | |

j. Power and Performance Options > Minimum Processor Idle Power Core C-State

- ☐ C6 State
- ☐ C1E State
- ☐ No C-states

※ i. Workload Profile が[Custom]に設定されている場合のみ。

k. Power and Performance Options > Minimum Processor Idle Power Package C-State

- ☐ Package C6(retention) State
- ☐ Package C6(non-retention) State
- ☐ No Package State

※ i. Workload Profile が[Custom]に設定されている場合のみ。

l. Service Options > IPMI Interrupt Support

- ☐ Enabled
- ☐ Disabled

※RBSU 画面で<Ctrl>キーと<A>キーを同時に押すと、「Service Options」メニューが表示されます。
詳細はメンテナンスガイド(共通編)を参照してください。

m. Boot Options > Boot Order Policy

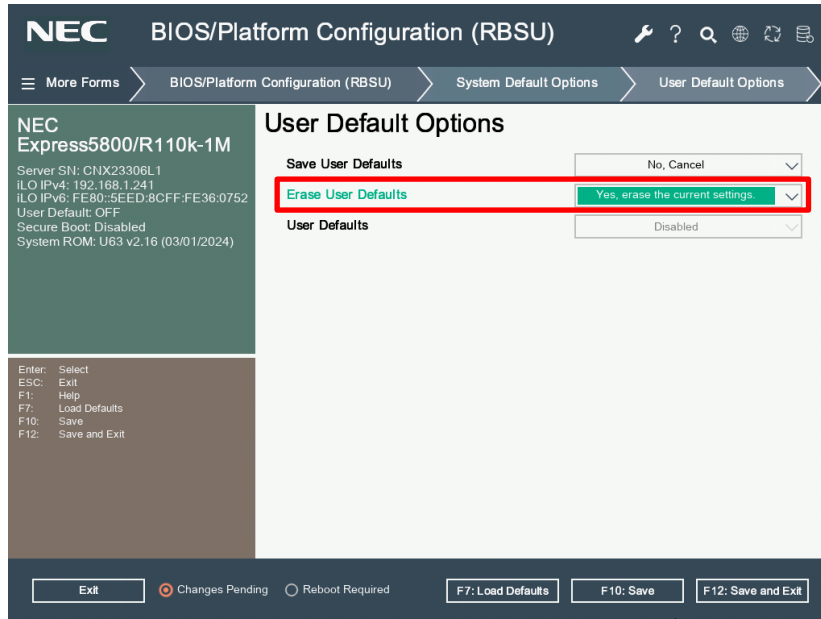
- ☐ Retry Boot Order Indefinitely
- ☐ Attempt Boot Order Once
- ☐ Reset After Failed Boot Attempt

n. Server Security > Trusted Platform Module Options > Advanced Trusted Platform Module Options > TPM Visibility

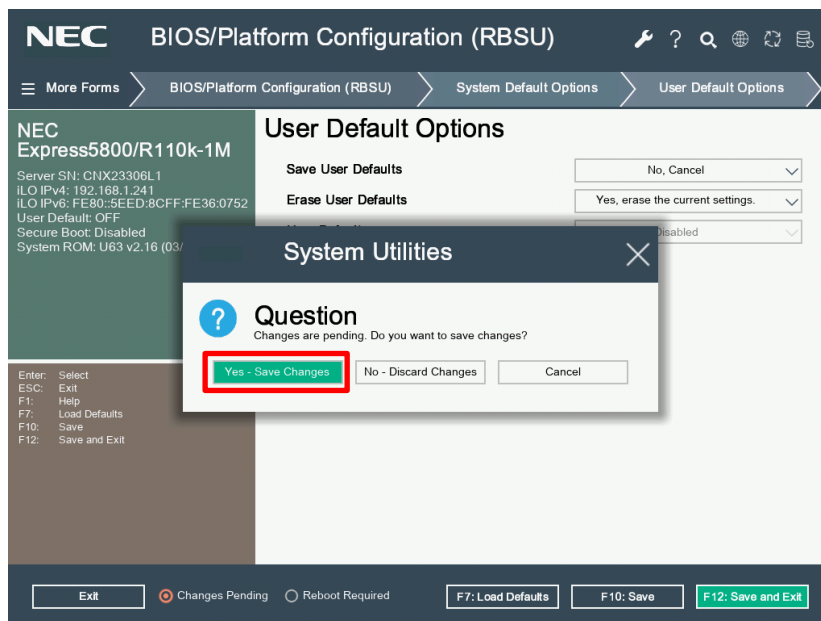
- ☐ Hidden
- ☐ Visible

(2) 以下の手順により、User Default 設定をクリアします。

- 「System Default Options > User Default Options > Erase User Defaults」を
[Yes, erase the current settings] に変更します。



変更後、<F12> キーを押してシステムユーティリティを終了し、サーバーを再起動します。



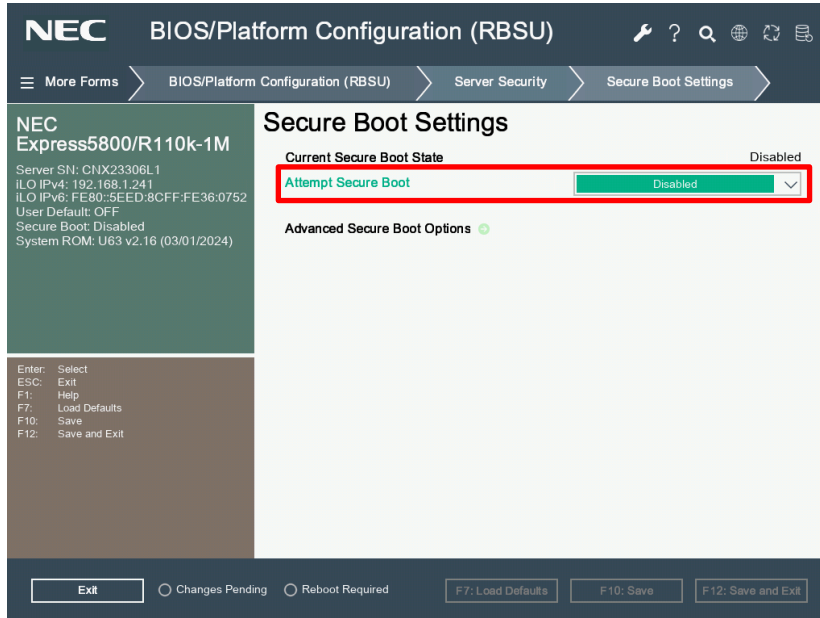
(3) 「BIOS/Platform Configuration (RBSU)」の設定のうち、(1)の事前準備で記録した項目以外についてデフォルトから変更した項目を記録します。

補足:

ここで記録した設定は、ファームウェアのダウングレード後に手順(23)で使用します。

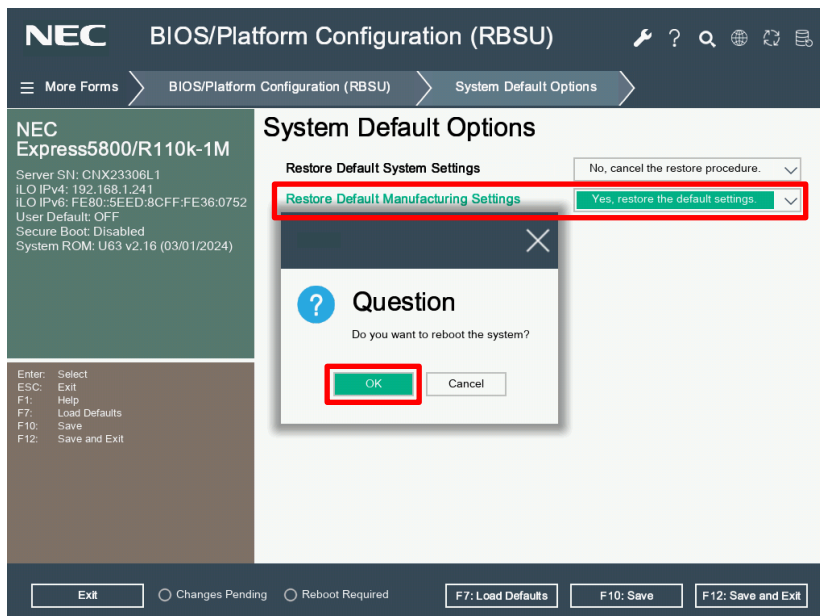
メンテナンスガイド(共通編)の「システムユーティリティの RBSU 設定の保存と復元」を参照してください。

- (4) Secure Boot 設定が有効になっているときは、以下の手順により、いったん Secure Boot を無効にします。
- 「System Configuration > BIOS/Platform Configuration (RBSU) > Server Security > Secure Boot Settings」に移動します。
 - 「Attempt Secure Boot」を「Disabled」に設定します。
 - <F10> キーを押して設定を保存します。



- (5) DVD ドライブに Starter Pack DVD をセットします。

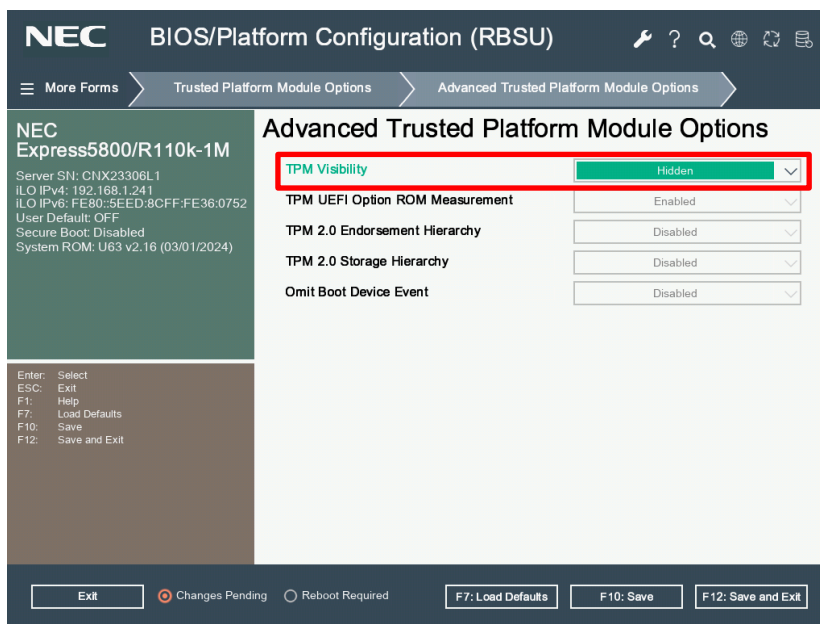
- (6) 以下の手順により、Default Manufacturing Settings をリストアします。
- 「System Configuration > BIOS/Platform Configuration (RBSU) > System Default Options」に移動します。
 - 「Restore Default Manufacturing Settings」に [Yes, restore the default settings] を設定します。
 - OK を選択し、サーバーを再起動します。



- 何回か自動で再起動が繰り返される場合がありますが、POST が起動するまでしばらくお待ちください。

(7) Trusted Platform Module (TPM)機能を Hidden に設定します。

- POST 中に <F9> キーを押してシステムユーティリティに入ります。
- システムユーティリティから、「System Configuration」 > 「BIOS/Platform Configuration (RBSU)」 > 「Server Security」 > 「Trusted Platform Module Options」 > 「Advanced Trusted Platform Module Options」を選択します。
- 「TPM Visibility」を [Hidden] に設定します。
- <F10> キーを押して設定を保存します。



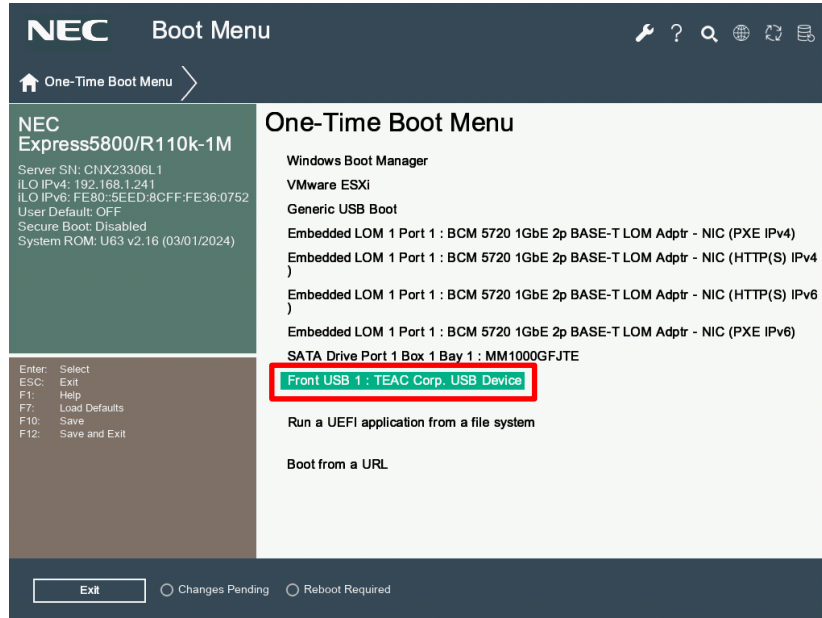
「TPM Visibility」の項目がグレースアウトしている場合は下記手順を実施してから「TPM Visibility」を[Hidden]に変更してください。

システムユーティリティから、「System Configuration」 > 「BIOS/Platform Configuration (RBSU)」 > 「Server Security」 > 「Advanced Security Options」を選択し、「Platform Certificate Support」を[Disabled]に設定します。

- (8) 再起動後、POST 中に <F11> キーを押します。

そのまま待つと、One-Time Boot Menu が表示されます。

One-Time Boot Menu 上で、手順(5)でセットした DVD ドライブを選択すると、サーバーが Starter Pack DVD から起動します。



(環境によって画面表示が異なります。)

- (9) 以下の画面が表示されますので、メニューの「Interactive Firmware Update」をカーソルキーで選択してから<Enter>キーを押します。

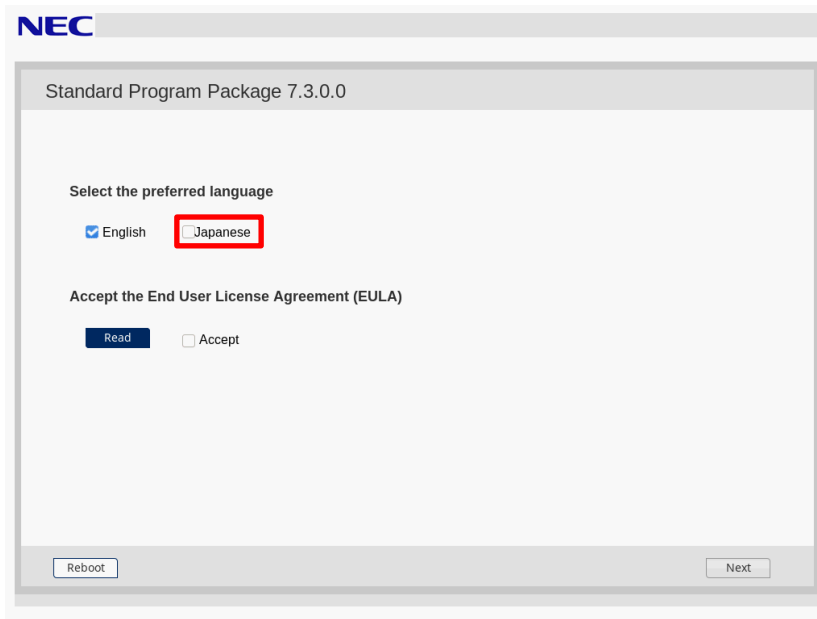
注意事項:

10 秒以内に選択操作をしない場合、「Automatic Firmware Update」が選択されます。誤って「Automatic Firmware Update」が選択された場合は、装置の電源スイッチを押すか、しばらく待って画面右上に表示される「Exit」をクリックして手動で終了してください。

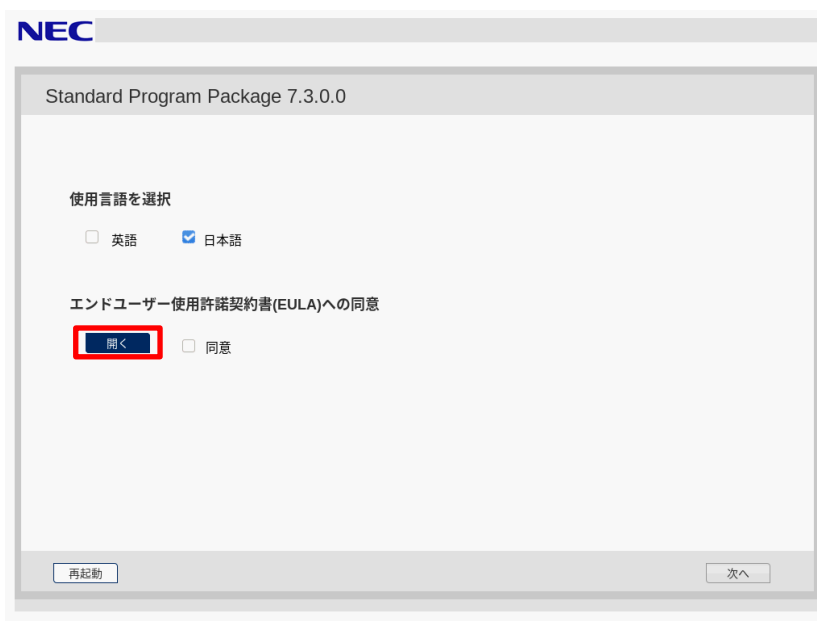


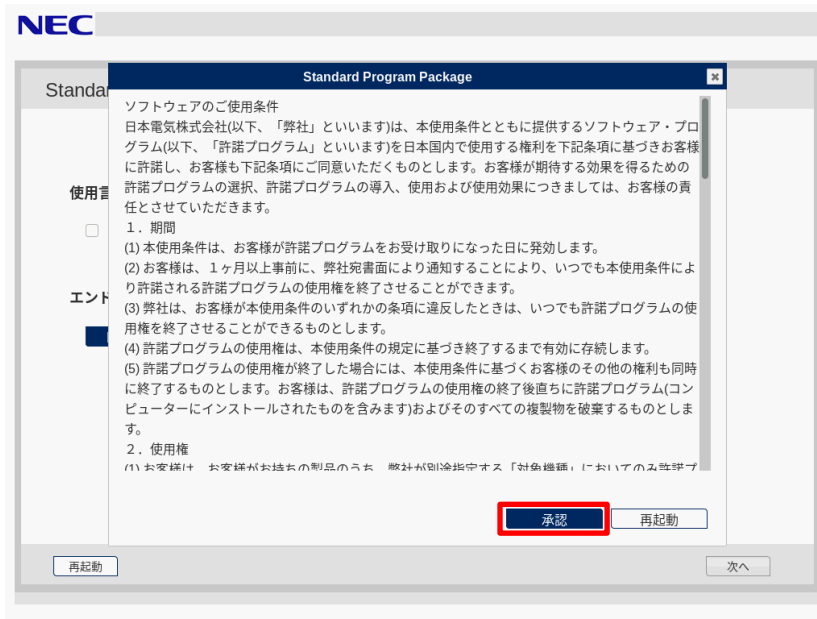
次の画面が表示されるまで、しばらくお待ちください。

(10) 「Select the preferred language」で「Japanese」を選択して日本語表示に変更します。

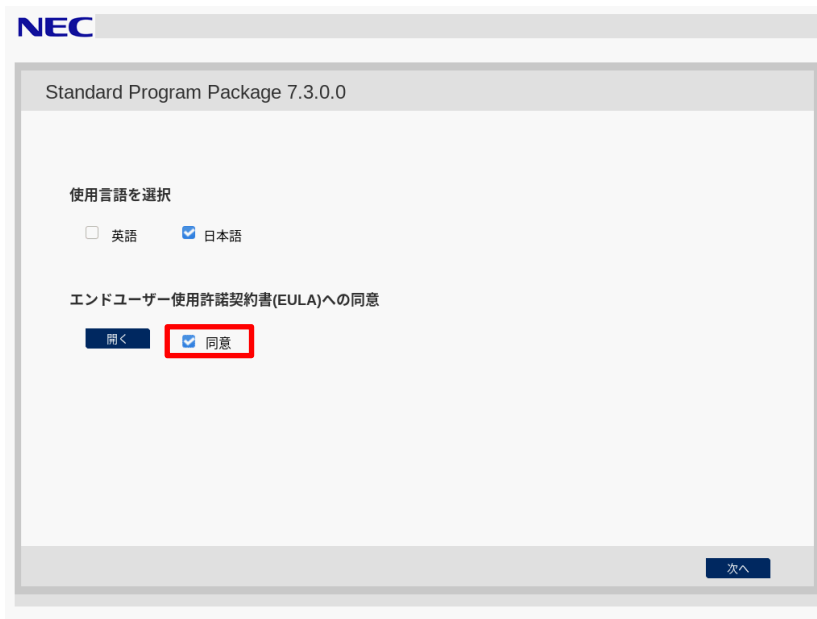


(11) 「エンドユーザー使用許諾契約書(EULA)への同意」で「開く」をクリックし、内容を確認して「承認」をクリックします。

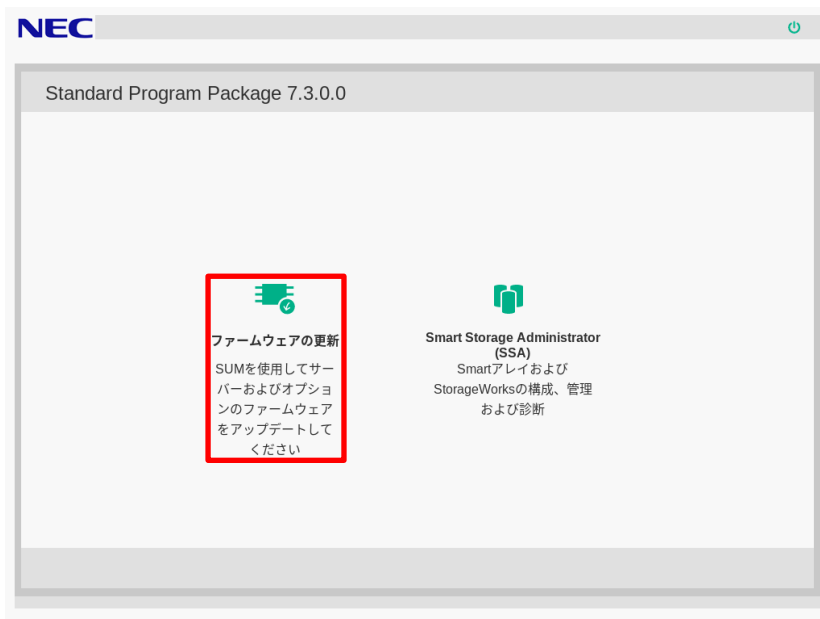




(12) 同意のチェックを確認し、画面右下の「次へ」を選択します。



(13) 「ファームウェアの更新」を選択します。



「ローカルホストガイドアップデート」の選択画面が表示された場合は、「ベースラインまたはインストールセット」が選択されていることを確認し、「OK」を選択します。(ここでは iLO インストールキューを選択しないでください。)



「ローカルホストガイドアップデート」画面が表示され、「手順 1 インベントリ」が自動的に始まります。

「ローカルホストのインベントリ」にて以下の「インベントリ完了」が表示されたら、画面左下の「次へ」をクリックします。

注意事項:

インベントリが完了しない場合は、AC 電源のオフ/オンを実施して、再度(8)の Starter Pack DVD 起動から試みてください。



(14) 「手順 2 レビュー」が表示されます。



画面をスクロールすると次のようにファームウェアの一覧が表示されます。
(環境によって表示されるファームウェアが異なります)

NEC Smart Update Manager 10.2.0

ローカルホストガイドアップデート

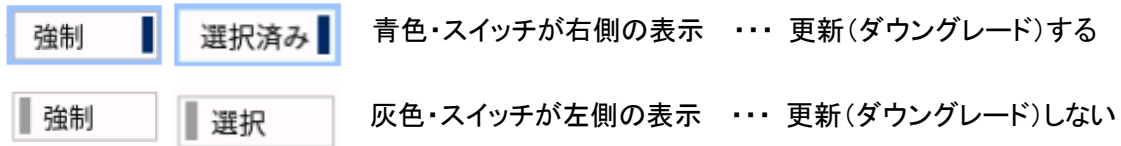
検索

コンポーネント を選択	パッケージ	準備 完了	タイプ	重要 度	インストー ル済みバー ジョン	利用可能なバー ジョン	再起 動が 必要
☐ 選択	Broadcom NX1 Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64 (firmware-nic-bcm-open-2.32.3-1.1.x86_64)	■	ファームウェア	推奨	詳細の参照	2.32.3	必須
☐ 強制	Firmware Package - UBM3 Backplane PIC PLDM Firmware for Gen10/Gen10P/Gen11 servers usage (HPE_UBM3_1.24_E)	◇	ファームウェア	推奨	詳細の参照	1.24	いいえ
☐ 強制	Online ROM Flash for Linux - Server Platform Services Manageability Engine Firmware for the Intel Sapphire Rapids Processor based systems (firmware-u63sps-06.00.04.033.0-1.1.x86_64)	◇	ファームウェア	推奨	詳細の参照	06.00.04.033.0	必須
☐ 強制	Language Pack - Japanese (firmware-ilo6-lpk-ja-n11-1.20-1.1.x86_64)	◇	ファームウェア	オプション	1.56.03	1.20	いいえ
☐ 強制	Online ROM Flash Component for Linux - iLO 6 (firmware-ilo6-1.30-1.1.x86_64)	◇	ファームウェア	推奨	1.56	1.30	いいえ
☐ 強制	ROM Flash Firmware Package - System ROM U63 (OEM.U63_1.30_03_01_2023)	◇	ファームウェア	推奨	U63 2.16 - (03/01/2024)	U63 1.30 - (03/01/2023)	必須
☐ 強制	Online HDD/SSD Flash Component for Linux (x64) - MM1000GFJTE Drive (firmware-hdd-95af9a555e-HPG6-2.1.x86_64)	◇	ファームウェア	推奨	詳細の参照	HPG6	環境に依存

警告/アラート

(15) ダウングレードするファームウェアを選択します。

ファームウェアのパッケージ名の左側に表示されているボタンをクリックすることで選択することができます。



以下の【注意 1】の内容を確認してください。

他のファームウェアはすべてダウングレードしますので、【注意 1】以外の項目をすべて選択してください。

【 注意 1 】

以下のファームウェアのダウングレードは行わないでください。(詳細および画面イメージ例は 18～21 ページを参照)

- System ROM
- iLO6 ファームウェア
- iLO6 日本語言語パック
- Server Platform Services (SPS)ファームウェア
- UBM ファームウェア
- RAID コントローラ/SAS コントローラ/SSD ボード ファームウェア
- HDD/SSD 製品のファームウェア

【 注意 2 】

ファームウェアのダウングレード後に、EXPRESSBUILDER のダウングレード(バージョンの引き下げ)は必要ありません。

「System ROM」

NEC Smart Update Manager 10.2.0

ローカルホストガイドアップデート

検索

コンポーネント を選択	パッケージ	準備 完了	タイプ	重要 度	インストー ル済みパー ジョン	利用可能なパー ジョン	再起 動が 必要
☐ 選択	Broadcom NX1 Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64 (firmware-nic-bcm-open-2.32.3-1.1.x86_64)	☒	ファームウェア	推奨	詳細の参照	2.32.3	必須
☐ 強制	Firmware Package - UBM3 Backplane PIC PLDM Firmware for Gen10/Gen10P/Gen11 servers usage (HPE_UBM3_1.24_E)	☐	ファームウェア	推奨	詳細の参照	1.24	いいえ
☐ 強制	Online ROM Flash for Linux - Server Platform Services Manageability Engine Firmware for the Intel Sapphire Rapids Processor based systems (firmware-u63sp-06.00.04.033.0-1.1.x86_64)	☐	ファームウェア	推奨	詳細の参照	06.00.04.033.0	必須
☐ 強制	Language Pack - Japanese (firmware-ilo6-lpk-ja-r11-1.20-1.1.x86_64)	☐	ファームウェア	推奨	1.56	1.30	いいえ
☐ 強制	Online ROM Flash Component for Linux - iLO 6 (firmware-ilo6-1.30-1.1.x86_64)	☐	ファームウェア	推奨	1.56	1.30	いいえ
☐ 強制	ROM Flash Firmware Package - System ROM U63 (OEM.U63_1.30_03_01_2023)	☐	ファームウェア	推奨	U63 2.16 - (03/01/2024)	U63 1.30 - (03/01/2023)	必須
☐ 強制	Online HDD/SSD Flash Component Drive (firmware-hdd-95a9a555e-HPC)	☐	ファームウェア	推奨	U63 2.16 - (03/01/2024)	U63 1.30 - (03/01/2023)	必須

警告/アラート

ROM Flash Firmware Package - System ROM U63 (OEM.U63_1.30_03_01_2023)

System ROM は「パッケージ」に以下の表示が含まれます。

- ROM Flash Firmware Package - System ROM**

「iLO6 ファームウェア」

NEC Smart Update Manager 10.2.0

ローカルホストガイドアップデート

検索

コンポーネント を選択	パッケージ	準備 完了	タイプ	重要 度	インストー ル済みパー ジョン	利用可能なパー ジョン	再起 動が 必要
☐ 選択	Broadcom NX1 Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64 (firmware-nic-bcm-open-2.32.3-1.1.x86_64)	☒	ファームウェア	推奨	詳細の参照	2.32.3	必須
☐ 強制	Firmware Package - UBM3 Backplane PIC PLDM Firmware for Gen10/Gen10P/Gen11 servers usage (HPE_UBM3_1.24_E)	☐	ファームウェア	推奨	詳細の参照	1.24	いいえ
☐ 強制	Online ROM Flash for Linux - Server Platform Services Manageability Engine Firmware for the Intel Sapphire Rapids Processor based systems (firmware-u63sp-06.00.04.033.0-1.1.x86_64)	☐	ファームウェア	推奨	詳細の参照	06.00.04.033.0	必須
☐ 強制	Language Pack - Japanese (firmware-ilo6-lpk-ja-r11-1.20-1.1.x86_64)	☐	ファームウェア	推奨	1.56	1.30	いいえ
☐ 強制	Online ROM Flash Component for Linux - iLO 6 (firmware-ilo6-1.30-1.1.x86_64)	☐	ファームウェア	推奨	1.56	1.30	いいえ
☐ 強制	ROM Flash Firmware Package - System ROM U63 (OEM.U63_1.30_03_01_2023)	☐	ファームウェア	推奨	U63 2.16 - (03/01/2024)	U63 1.30 - (03/01/2023)	必須
☐ 強制	Online HDD/SSD Flash Component Drive (firmware-hdd-95a9a555e-HPC)	☐	ファームウェア	推奨	U63 2.16 - (03/01/2024)	U63 1.30 - (03/01/2023)	必須

警告/アラート

Online ROM Flash Component for Linux - iLO 6 (firmware-ilo6-1.30-1.1.x86_64)

iLO6 Firmware は「パッケージ」に以下の表示が含まれます。

- ROM Flash Component for Linux - iLO 6**

「iLO6 日本語言語パック」

NEC Smart Update Manager 10.2.0

ローカルホストガイドアップデータ

検索:

コンポーネント を選択	パッケージ	準備完了	タイプ	重要度	インストール済みバージョン	利用可能なバージョン	再起動が必要
☐	Broadcom NX1 Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64 (firmware-nic-bcm-open-2.32.3-1.1.x86_64)	■	ファームウェア	推奨	詳細の参照	2.32.3	必須
☐	Firmware Package - UBM3 Backplane PIC PLDM Firmware for Gen10/Gen10P/Gen11 servers usage (HPE_UBM3_1.24_E)	◇	ファームウェア	推奨	詳細の参照	1.24	いいえ
☐	Online ROM Flash for Linux - Server Platform Services Manageability Engine Firmware for the Intel Sapphire Rapids Processor based systems (firmware-u63sps-06.00.04.033.0-1.1.x86_64)	◇	ファームウェア	推奨	詳細の参照	06.00.04.033.0	必須
☐	Language Pack - Japanese (firmware-ilo6-lpk-ja-ri11-1.20-1.1.x86_64)	◇	ファームウェア	オプション	1.56.03	1.20	いいえ
☐	Online ROM Flash Component for Linux - iLO 6 (firmware-ilo6-1.30-1.1.x86_64)	◇	ファームウェア	推奨	1.56	1.30	いいえ
☐	ROM Flash Firmware Package - System (OEM.U63_1.30_03_01_2023)	◇	ファームウェア	推奨	詳細の参照	HPG6	推奨
☐	Online HDD/SSD Flash Component for Linux (firmware-hdd-95af9a555e-HPE)	◇	ファームウェア	推奨	詳細の参照	HPG6	推奨

警告/アラート

Language Pack - Japanese (firmware-ilo6-lpk-ja-ri11-1.20-1.1.x86_64)

iLO6 日本語言語パックは「パッケージ」に以下の表示が含まれます。

- **Language Pack**

「Server Platform Services (SPS)ファームウェア」

NEC Smart Update Manager 10.2.0

ローカルホストガイドアップデータ

検索:

コンポーネント を選択	パッケージ	準備完了	タイプ	重要度	インストール済みバージョン	利用可能なバージョン	再起動が必要
☐	Broadcom NX1 Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64 (firmware-nic-bcm-open-2.32.3-1.1.x86_64)	■	ファームウェア	推奨	詳細の参照	2.32.3	必須
☐	Firmware Package - UBM3 Backplane PIC PLDM Firmware for Gen10/Gen10P/Gen11 servers usage (HPE_UBM3_1.24_E)	◇	ファームウェア	推奨	詳細の参照	1.24	いいえ
☐	Online ROM Flash for Linux - Server Platform Services Manageability Engine Firmware for the Intel Sapphire Rapids Processor based systems (firmware-u63sps-06.00.04.033.0-1.1.x86_64)	◇	ファームウェア	推奨	詳細の参照	06.00.04.033.0	必須
☐	Language Pack - Japanese (firmware-ilo6-lpk-ja-ri11-1.20-1.1.x86_64)	◇	ファームウェア	オプション	1.56.03	1.20	いいえ
☐	Online ROM Flash Component for Linux - iLO 6 (firmware-ilo6-1.30-1.1.x86_64)	◇	ファームウェア	推奨	1.56	1.30	いいえ
☐	ROM Flash Firmware Package - System (OEM.U63_1.30_03_01_2023)	◇	ファームウェア	推奨	詳細の参照	HPG6	推奨
☐	Online HDD/SSD Flash Component for Linux (x64) - MM1000GFJTE (firmware-hdd-95af9a555e-HPE)	◇	ファームウェア	推奨	詳細の参照	HPG6	推奨

警告/アラート

Online ROM Flash for Linux - Server Platform Services Manageability Engine Firmware for the Intel Sapphire Rapids Processor based systems (firmware-u63sps-06.00.04.033.0-1.1.x86_64)

Server Platform Services (SPS)ファームウェアは「パッケージ」に以下の表示が含まれます。

- **Server Platform Services Manageability Engine Firmware**

「UBM ファームウェア」

NEC Smart Update Manager 10.2.0

ローカルホストガイドアップデート

コンポーネント を選択	パッケージ	準備完了	タイプ	重要度	インストール済みバージョン	利用可能なバージョン	再起動が必要
選択	Broadcom NX1 Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64 (firmware-nic-bcm-open-2.32.3-1.1.x86_64)		ファームウェア	推奨	詳細の参照	2.32.3	必須
強制	Firmware Package - UBM3 Backplane PIC PLDM Firmware for Gen10/Gen10P/Gen11 servers usage (HPE_UBM3_1.24_E)		ファームウェア	推奨	詳細の参照	1.24	いいえ
強制	Online ROM Flash for Linux - iLO 6 (firmware-iio6-1.30-1.1.x86_64)		ファームウェア	推奨	1.56	1.30	いいえ
強制	Language Pack - Japanese (firmware-ilo6-ja-r111-1.20-1.1.x86_64)		ファームウェア	推奨			いいえ
強制	Online ROM Flash Component for Linux - iLO 5 (firmware-iio5-2.55-1.1.x86_64)		ファームウェア	推奨	2.65	2.55	いいえ
強制	ROM Flash Firmware (OEM.U03_1.30_03_0)		ファームウェア	推奨			いいえ
強制	Online HDD/SSD Flash Drive (firmware-hdd-95)		ファームウェア	推奨			いいえ

警告/アラート

UBM ファームウェアは「パッケージ」に以下の表示が含まれます。

- **Firmware Package - UBM**

「RAID コントローラ」

NEC Smart Update Manager 8.9.0

ローカルホストガイドアップデート

コンポーネント を選択	パッケージ	準備完了	タイプ	重要度	インストール済みバージョン	利用可能なバージョン	再起動が必要
強制	Online ROM Flash Component for Linux - iLO 5 (firmware-iio5-2.55-1.1.x86_64)		ファームウェア	推奨	2.65	2.55	いいえ
強制	Language Pack - Japanese (firmware-ilo5-lpk-ja-r111-2.55-1.1.x86_64)		ファームウェア	オプション	2.60.07	2.55	いいえ
強制	Online ROM Flash Component for Linux - System ROM U30 (firmware-system-oem-u30-2.54_2021_09_03-1.1.x86_64)		ファームウェア	推奨	U30 2.62 - (03/08/2022)	U30 2.54 - (09/03/2021)	必須
強制	HPE Broadcom NX1 Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64 (firmware-nic-broadcom-2.27.6-1.1.x86_64)		ファームウェア	オプション	詳細の参照	2.27.6	必須
強制	Supplemental Update / Online ROM Flash Component for Linux (x64) - HPE Smart Array P408i-p, P408e-p, P408i-a, P408i-c, E208i-p, E208e-p, E208i-a, P408i-sb, P408e-m, P204i-c, P204i-b, P816i-a and P416ie-m SR Gen10 (firmware-smartarray-f7c07bdbbd-4.11-1.1.x86_64)		ファームウェア	推奨	5.00	4.11	必須
強制	HPE Firmware Flash for Emulex - Fibre Channel Host Bus Adapters for Linux (x64) (firmware-ic-emulex-4.11-1.1.x86_64)		ファームウェア	推奨	詳細の参照	2021.10.01	必須

Supplemental Update / Online ROM Flash Component for Linux (x64) - HPE Smart Array P408i-p, P408e-p, P408i-a, P408i-c, E208i-p, **E208e-p**, E208i-a, P408i-sb, P408e-m, P204i-c, P204i-b, P816i-a and P416ie-m SR Gen10 (firmware-smartarray-f7c07bdbbd-4.11-1.1.x86_64)

RAID コントローラ/SAS コントローラ/SSD ボード製品は、「パッケージ」に以下の表示が含まれます。

RAID コントローラ:

- N8103-243: 「SR and Gen11 controllers」または「SR308i」
- N8103-248/249: 「MR408i」または「MR216i」

SAS コントローラ

- N8103-197: 「E208e-p」

SSD ボード:

- N8103-247: 「NS204i」

「HDD/SSD 製品」

NEC Smart Update Manager 10.2.0

ローカルホストガイドアップデート

検索

コンポーネント を選択	パッケージ	準備 完了	タイプ	重要 度	インストー ル済みバー ジョン	利用可能なバー ジョン	再起 動が 必要
☐ 選択	Broadcom NX1 Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64 (firmware-nic-bcm-open-2.32.3-1.1.x86_64)	■	ファームウェア	推奨	詳細の参照	2.32.3	必須
☐ 強制	Firmware Package - UBM3 Backplane PIC PLDM Firmware for Gen10/Gen10P/Gen11 servers usage (HPE_UBM3_1.24_E)	◇	ファームウェア	推奨	詳細の参照	1.24	いいえ
☐ 強制	Online ROM Flash for Linux - Server Platform Services Manageability Engine Firmware for the Intel Sapphire Rapids Processor based systems (firmware-u63ps-06.00.04.033.0-1.1.x86_64)	◇	ファームウェア	推奨	詳細の参照	06.00.04.033.0	必須
☐ 強制	Language Pack - Japanese (firmware-ilo6-lpk-ja-r11-1.20-1.1.x86_64)	◇	ファームウェア	オプション	1.56.03	1.20	いいえ
☐ 強制	Online ROM Flash Component for Linux (x64) - MM1000GFJTE Drive (firmware-hdd-95af9a555e-HPG6-2.1.x86_64)	◇	ファームウェア	推奨	詳細の参照	HPG6	環境に依存
☐ 強制	ROM Flash Firmware (OEM.U63_1.30-1.1.x86_64)	◇	ファームウェア	推奨	詳細の参照	HPG6	環境に依存
☐ 強制	Online HDD/SSD Flash Component for Linux (x64) - MM1000GFJTE Drive (firmware-hdd-95af9a555e-HPG6-2.1.x86_64)	◇	ファームウェア	推奨	詳細の参照	HPG6	環境に依存

警告/アラート

HDD/SSD 製品は「パッケージ」に以下の表示が含まれます。

- HDD/SSD Flash Component

または

- NVMe SSD Flash Component

(16) 必要に応じて画面をスクロールして、表示されたすべてのファームウェアを確認します。

選択したダウングレードするファームウェアがある場合は、下までスクロールして「展開」をクリックします。

注意事項:

ダウングレードするファームウェアが存在しない場合は、「戻る」をクリックして手順(18)に進みます。



「手順 3 展開」が始まりますので、以下の「展開が完了しました」が表示されるまで、しばらくお待ちください。



(17) ファームウェアのダウングレードに成功したことを確認します。

次のように、

- ・ 各コンポーネント名の左側に表示されるステータスアイコンが緑色であること
 - ・ 各コンポーネントの展開ステータスに「成功」と表示されること
- を確認します。



- (18) Starter Pack DVD を DVD ドライブから取り出し、画面左下の「再起動」をクリックします。
次の画面で「はい、再起動します」をクリックします。



※[はい、再起動します]をクリックしても再起動しない場合は、右上の[終了]をクリックし、さらに右上の電源アイコンをクリックして再起動を選択してください。

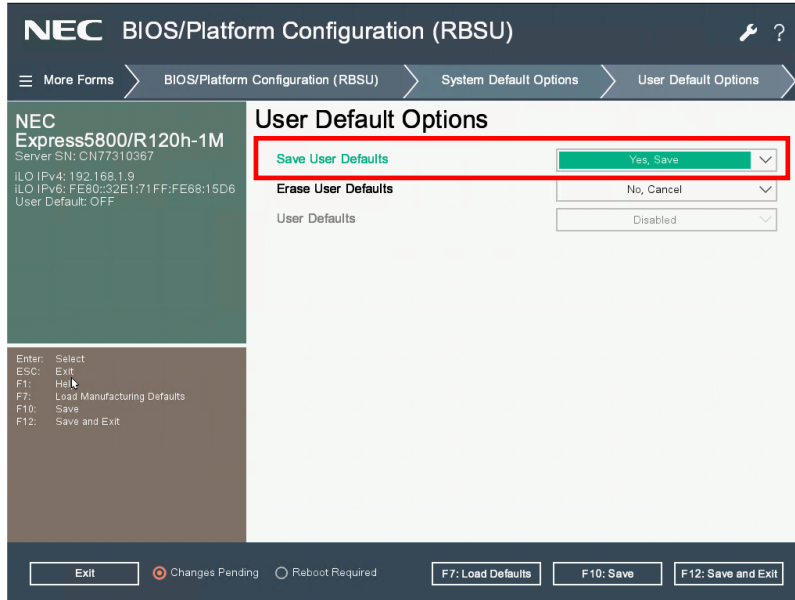
内蔵 DVD-ROM ドライブ [N8151-137]、内蔵 DVD-SuperMULTI ドライブ [N8151-138]を使用時は、ダウングレード後に Starter Pack DVD が DVD ドライブから取り出せない場合があります。このとき、「トラブルシューティング」を参照して、DVD を取り出してください。

(19) 手順(2)でクリアした User Default 設定を再設定します。

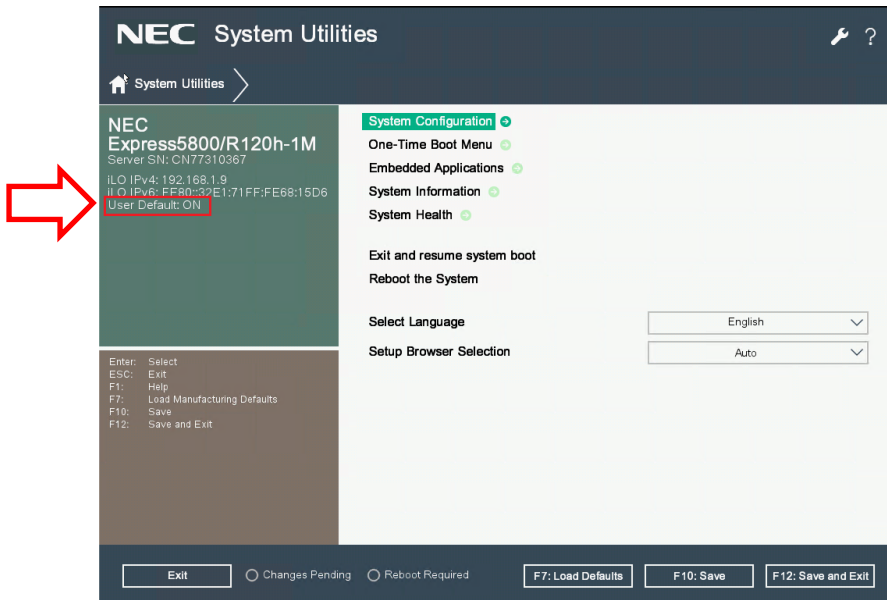
POST 中に <F9>キーを押してシステムユーティリティに入り、「System Configuration > BIOS/Platform Configuration (RBSU)」以下を、第 4 章冒頭の「事前準備」で記録した設定に再設定します。

再設定後、「System Default Options > User Default Options > Save User Defaults」の設定を **[Yes, Save]** に変更します。

変更後 <F12>キーを押し、システムユーティリティを終了させ、サーバーを再起動します。



(20) 再起動後、再びシステムユーティリティを起動し、下記メッセージにより User Default が有効(ON)であることを確認します。



(21) 「System Configuration > BIOS/Platform Configuration (RBSU)」メニューに移動します。

(22) 必要に応じ、Secure Boot の再設定を行います。

手順(4)で Secure Boot を有効から無効に変更した場合、以下の手順にて有効に戻します。

- 「Server Security > Secure Boot Settings」に移動します。
- 「Attempt Secure Boot」に「Enabled」を設定します。
- <F10> キーを押して設定を保存します。

(23) その他の「BIOS/Platform Configuration (RBSU)」設定

手順(3)で記録した設定を参照し、手順(22)以外の「BIOS/Platform Configuration (RBSU)」設定を再設定します。

設定完了後 <F10>キーを押して設定を保存します。

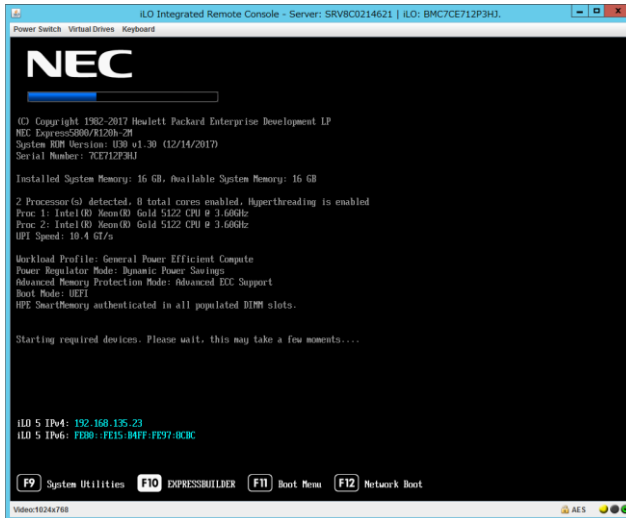
「Reboot the System」オプションを使ってサーバーを再起動します。

再起動後、システムユーティリティに入り設定が反映されていることを確認し、サーバーの電源をオフにします。

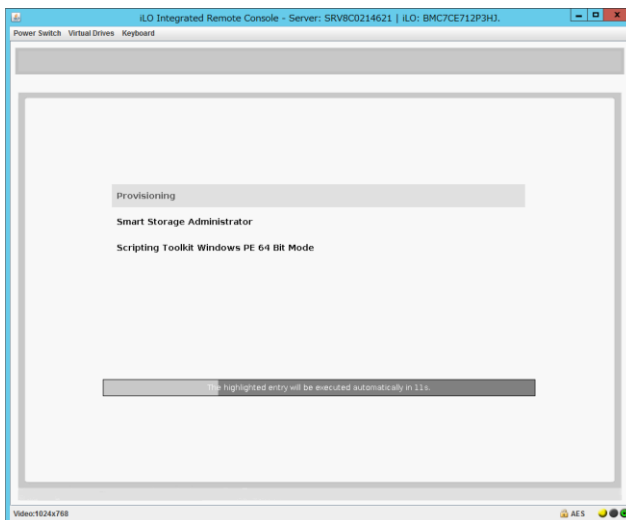
トラブルシューティング

ダウングレード後にサーバーを再起動して、Starter Pack DVD が DVD ドライブから取り出せなくなった場合、以下の手順に従って取り出してください。

- (1) 電源のオフ、オン、または、<Ctrl>+<Alt>+<Delete>キーを押して、サーバーを再起動します。
次のように、POST が始まります。

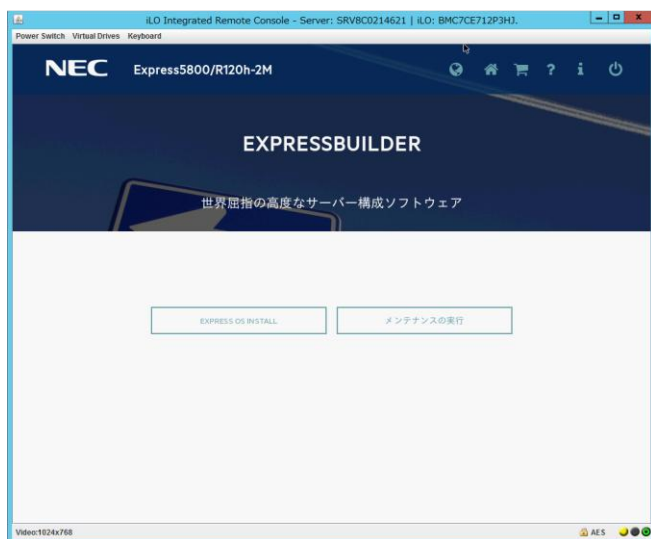


- (2) POST 画面で<F10>キーを押します。次の画面が表示されます。

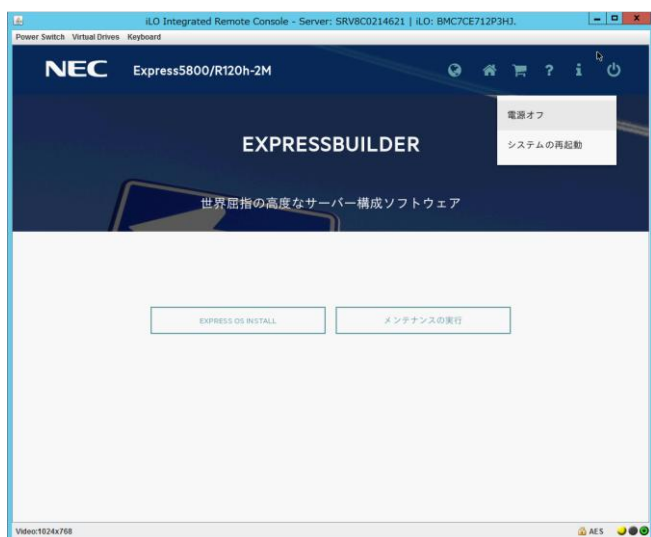


- (3) メニューの「Provisioning」を選択します。何もキーを押さない場合、自動的に「Provisioning」が選択されます。

- (4) EXPRESSBUILDER 起動後、DVD ドライブのイジェクトボタンを押して、Starter Pack DVD を取り出します。



- (5) 「電源オフ」、または「システムの再起動」を選択します。



以上で作業は終了です。

変更履歴

版数	改版日	改版内容
2	2026 年 3 月 24 日	TPM Visibility 設定を変更する手順を修正
1	2025 年 1 月 27 日	初版